

茨城県水戸市立柳河小学校（学校長 瀧澤 眞）

実施日	平成19年10月17日（水）	時間	午前8時40分～午後1時
実施場所	体育館	対象/人数	1～6年生99名
担当教諭	飯村 幸恵	ファシリテーター	関 二夫
講師	パク ミイジョン（韓国） オレリアン・パロン（フランス・県国際交流員）		

活動内容

- ・母国語のあいさつ・自己紹介
- ・フランスと韓国のそれぞれの国の自然環境、子どもたちの生活の様子、学校、遊び、民族衣装、文化に関する多種多様なもののお話を聞く

児童の感想

- ・フランスの国旗の色には意味があることを学んだ。そのことについて、パロンさんが分かりやすく教えてくれた。
- ・わたしはフランスへ行ったことがあるけれど、わたしの知らないことをたくさん教えてくれて、おもしろかった。
- ・アメリカにある自由の女神が、フランスで作られてアメリカにプレゼントされたと聞いてびっくりした。
- ・フランス人が食べている料理や名前の意味を教えてくださいました。
- ・韓国では、生まれたらすぐに1才になることや、（干支に）ぶた年があることを初めて知った。
- ・韓国では、お父さん、お母さん、先生を「さま」をつけて呼ぶのがおもしろいなと思った。尊敬や感謝の意味を表すということが分かった。お父さんとお母さんと先生はとても大切だと教えてもらいました。朴さんのお話で、何となく親のありがたさが分かったような気がしました。
- ・韓国のあいさつの仕方や名前のつながり方を教えてくださいました。いろいろ分かって楽しかったです。韓国の人はたくさん勉強していることを知りました。
- ・韓国の言葉や食べ物を色々教えてもらって勉強になった。日本と同じところもあるけれど、違うところもたくさんあるんだなと思った。
- ・朴さんのドレスを着てみたいと思った。民族衣装がきれいでした。
- ・パロンさんと美貞さんと一緒にお昼（給食）を食べてとても楽しかったです。
- ・フランスと韓国に行きたくなりました。楽しくフランスや韓国のことが分かりました。時間が過ぎるのがとても早く感じました。

先生の感想

- ・写真をたくさん用意してくれたので、説明の時間が欲しかった。話し方や話題が、子どもたちの興味を引くように工夫されていてよかった。実際に触ったり踊ったり遊んだりといった活動もあるとよかった。用意されたたくさんの資料に、子どもたちは興味深く話を聞いていた。内容が盛りだくさんで時間が足りなかった。
- ・フランスの方の話術にのせられ、笑い声が絶えなかった。朴さんは、日本の子どもたちに伝えたいこととして、年長者に対する態度など教えられるものがあつた。フランスのオレリアンさんも韓国の朴さんも、とても感じの良い人で、一生懸命にお話や説明をしてくれた。もっと写真を見たり色々教えていただく時間が欲しかった。

成果と課題

- ・児童は、このワールドキャラバンを楽しみにしている。今回はフランスと韓国の言葉や文化、民族衣装、歴史的背景からくる考え方など、たくさんの資料をもとに興味深いお話をしていただいた。お二人の人柄や日本と異なる文化や生活に触れ、瞬く内に時間が過ぎた。世界にはたくさんの国があり、またその国の人々や暮らしぶりなども多様であることを知り、さらに視野を広げることができたと思う。講師の方がたくさん資料やお話を用意してきて下さるので、十分に時間確保できるよう、打ち合わせを綿密に行っていきたい。

